



マンション事情

僕たち夫婦は高田馬場の賃貸マンションに住んでいます。都心のマンションは本当に高いですね。訪問している患者さんのお宅は圧倒的に持ち家の方が多いのですが、マンションの方もおられます。

最近のマンションはオートロック式になっており、マンションに入る時点で部屋番号のボタンを押し、中の人にドアを開けてもらわなければなりません。

以前、オートロックの前で青ざめたことがあります。そうです、部屋

番号を忘れてしまったのです。まだ、当時は携帯電話も持っておらず、患者さんの電話番号も分からなかったのです。なんと、目の前まで来て中に入れなかったことがありました。

ちなみに我が家のマンションは、いつでも誰でも自由に入れる「おおらか」なマンションです。

こんな方・あんな方

Mさん(女性)は、この8月に百歳になりました。もちろん僕が拝見している最高年齢です。と言っても寝たきりで動かないわけではありませんよ。普段は車椅子でお過ごしですし、基本的には自分で身の回りのことはされます。

先日、Mさんの所へ伺ったとき、長寿の秘訣を聞いてみました。すると、

「特別なことは何もしていません。自分で年をとっている気もしていませんし。」ということでした。

また、「私は人よりも早く生まれただけです。皆さんも私に追いついて、もっと先まで行って頂ければいいんですよ。」とも。最後に、「くれぐれも順番を変えないように。」本当に人生の先輩は素晴らしい師匠です。

お知らせ

九月から十二月までは僕たちにとっては秋の学会シーズンに入っています。皆さんの予約にも少し響いてしまうかもしれませんが、お許しください。